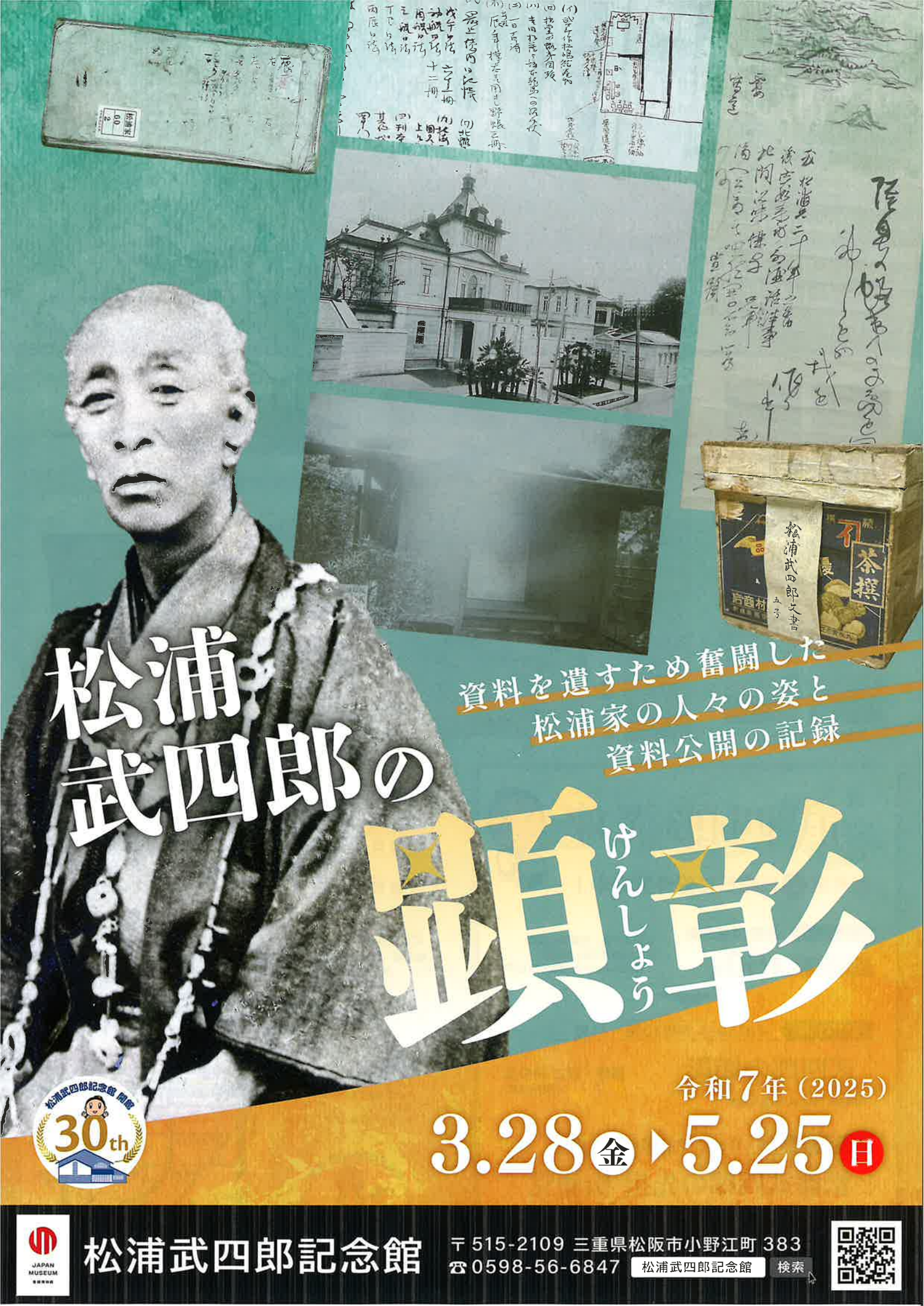




松浦武四郎の

資料を遺すため奮闘した
松浦家の人々の姿と
資料公開の記録

顕彰

けんしやう



令和7年(2025)

3.28金 ▶ 5.25日



松浦武四郎記念館

〒515-2109 三重県松阪市小野江町 383
☎ 0598-56-6847

松浦武四郎記念館

検索



松浦武四郎の顕彰

令和7年(2025) 3.28金 ▶ 5.25日

展示会の様子は？

武四郎の資料が辿った道は？

戦火の中、資料を守るために
とった行動は？

松浦武四郎の死後、武四郎が遺したさまざまな資料は彼の自宅と実家でそれぞれ保管されてきました。そしてその資料は、松浦武四郎記念館に寄贈され、平成20年(2008)に重要文化財に指定されています。今回の展示では、明治時代の日露戦争、日本初の西洋式図書館である南葵文庫への書籍の寄託、書斎・一畳敷の寄贈、大正時代の関東大震災、昭和時代の東京大空襲など、歴史に影響されながらも武四郎の資料を未来に遺そうと奮闘する松浦家の人々の姿と、武四郎の遺した資料がどのように公開されてきたのかを紹介します。



↑蝦夷人舞踏之図↑



→武四郎涅槃図(レプリカ)

←蝦夷図寄書



↑柄の部分が燃えた寄書傘



↑関東大震災の火災で
欠けた印章



↑樺太の調査で使った
野帳(フィールドノート)



↑資料を疎開させるために
使用した茶箱

武四郎講座

毎月第②日曜日に好評開催中！

参加費 当館 多目的室

定員 先着60名

※申込不要、先着順に受付
※入館料要(展示解説付)
講座のみ参加は資料代110円

第191回 4月13日(日) 午前10時～11時

武四郎の顕彰

講師：世古 詩央里
(当館学芸員)

※講座終了後に展示解説も実施

第192回 5月11日(日) 午前10時～11時

松浦武四郎の先祖 松浦党

一源氏か、阿倍氏か

※講座終了後に展示解説も実施

講師：佐藤 圭祐
(当館学芸員)

ご利用案内

開館時間 午前9時00分から午後4時30分まで

休館日 毎週月曜日 ※GW期間中(4月26日～5月6日)は休まず開館
詳しくは松浦武四郎記念館公式HPのカレンダーにて▶

入館料 19歳以上 ▶360円【230円】

6歳以上18歳以下 ▶230円【120円】

※【 】内は20名以上の団体料金

就学前のお子様は無料、お得な年間パスポートあり

交通案内

■電車・バスで

▶近 鉄 伊勢中川駅東口からタクシーで7分

平日のみ 伊勢中川駅東口から三雲地域コミュニティバス「たけちゃんハートバス」(10人乗り)を運行、【松浦武四郎記念館】下車すぐ

▶JR・近鉄 津駅前(東口)から三交バス「天白」行き、【小野江バス停】下車
国道23号 小野江町交差点を西へ徒歩約15分

■お車で

○伊勢自動車道 一志姫野 I.C

または久居 I.C から

それぞれ車で約15分

○国道23号

小野江町交差点を西へ約1km

